

<p>会 議 録</p>	<p>日時 令和6年8月28日(水)14:00～15:00</p>	<p>場所 沼津フジビューホーム 地域交流室</p>	<p>書記・記録 土屋 智美</p>
<p>会 議 名</p>	<p>第1回 地域密着型 運営推進会議</p>		
<p>出席者</p>	<p>A委員(門池地区連合自治会長) B委員(門池地区連合自治会副会長) C委員(担当民生委員) D委員(ご利用者様ご家族) E委員(かどいけ地域包括支援センター) 河野 義文(駿河厚生会 理事長) 廣瀬 麻美(沼津フジビューデイサービス認知症対応型生活相談員) 土屋 智美(同 一般型介護職員)</p>		
<p>式次第</p>	<p>資料参照のこと</p>		
<p>議 題</p>	<p>内 容</p>		
<p>1. 開会 2. 出席者紹介 3. 利用状況 利用実績の報告 4. 活動状況報告 5. 苦情受付 6. 事故その他の報告すべき事項 7. 質問</p>	<p>廣瀬: 令和6年第1回運営推進会議を行いたいと思います。今日はよろしくお願ひします。</p> <p>2. 出席者紹介 年度が変わって、メンバーも一部変わっている。出席者の方に、それぞれ自己紹介を頂いた。</p> <p>3. 利用状況 別紙参照</p> <p>利用実績の報告 廣瀬: 登録利用者数が2月では9名、7月では7名と人数が減っている。施設入所やお亡くなりになってデイを終了ということ減ってしまった。内訳として、身体的には元気な要介護1、2の方が多く、要介護3になると入所が可能になるため、入所を選択される方が多い。延べ利用者数は、毎日利用の方や週3日～4日ご利用の方などと増えている状況ではある。</p> <p>4. 活動状況報告 別紙資料参照 コロナがまだある中だったり、職員の都合やマンツーマン対応で「さくら」独自の活動は減ってしまっている。おやつ作りや機能訓練外出など、一般型との合同行事が多かった。昨年度までは料理をしたりすることも多かったが、厨房の関係でおやつ作りに変更したり保育園児と一緒におやつを作ったり食べたりと保育園との交流が盛んになってきた。毎年恒例の機能訓練を兼ねた外出では今年も桜を見に愛鷹運動公園や裾野へと桜前線を追うように出掛けた。ららぽーとやサントムーンで買い物や支払いをしたり、他にも楽寿園、三島スカイウォークに行って散策をしたり、「冥途の土産に」と、普段ご家族がしてあげられない体験を喜んで下さるご家族もいらした。毎月の行事では誕生会、体重測定、イベント風呂など実施している。体重測定では増減やBMIなど数値で出している。イベント風呂は入浴剤を変えたり、浴室をデコレーションしたり普段入浴にお誘ひして断られてしまう方でも、イベント風呂なら入って下さることもある。麻雀教室は現在ほぼ毎日行っていて、女性の参加者も増えてきている。フジビュー大学は、職員が約30分講師になり、各々好きなテーマで講義を行っている。これも行事として定着してきている。</p> <p>5. 苦情受付 おかげ様で苦情受付はありませんでした。</p> <p>6. 事故その他の報告すべき事項 最近豪雨も増えてきている。送迎はデイサービスの業務の要の一つのため、安全面に考慮し、天候にも注意していきたい。</p> <p>7. 質問 A委員: 利用者数が10から7に減少しているのはなぜか。 地区センターでも一般的にも、認知症の方が増えていると聞いているのに。 廣瀬: 一般型に比べ、うちの特徴として個別で対応しているので割高になる。もちろん一般型にも認知症の方はおられるが、集団の中ではどうしても難しい方がいる。他の事業所で断られてしまったような方を積極的に受け入れている。</p>		

議 題	内 容
	<p>A委員:要介護3で入所。1、2は受け入れて他は卒業しているのか。</p> <p>廣瀬:要介護3になった途端、入所を検討するご家族も少ない。最初は在宅介護を望んでいても、現実的に在宅での介護を継続していくのは困難なのかも。</p> <p>E委員:ほかの包括でも困っているケースがあるというのは聞いている。デイに行ってくれない。手厚い介護を受けられる所があると伝えても、なかなか本人に受け入れてもらえない状況がある。</p> <p>廣瀬:車に乗るまで1時間かかることもある。その方が行く気になるまで話をしたり、まずは顔を覚えてもらって信頼を得ることから始めている。</p> <p>D委員:うちの主人は体は悪いところはなく、体力はある。字や言葉がわからないのが現状。外へ歩きに行くのでGPSを持たせて1時間したらどこにいるかを確認している。確認して、帰って来られそうならば早く待つ。帰って来られない時には車で迎えに行っている。函南のNTTや富士まで歩いていける。細い道に入られると迎えに行くのが大変。朝は毎日5時から1時間ほど散歩に行っている。</p> <p>出席者全員:それは大変だ</p> <p>D委員:デイサービスに行った日は、家に帰ってきてても疲れているから歩きに行くことはない。17時過ぎに帰ってきて18時頃に夕食。お風呂は嫌いなようで入らないこともある。19時頃に寝て朝まで寝ている。薬を使わないで眠れている。週4日見てもらい、ここにきて本当に助かっている。以前は午前中だけのデイに行っていたが、そこは迎えに来ても行きたがらない。仕方なくこちらが送って行っても近くまで行くと「行かない行かない。」と拒否だった。フジビューには「行きたくない」と言うことがない。</p> <p>廣瀬:デイでも職員がついて一緒に歩いている。上背があるので歩幅も大きく歩くペースも速い。職員が交代で対応している。汗びっしょりになってしまうことがあるため、着替えを預らせてもらっているが、着替えていただくことも難しい。デイの利用日でない火曜日の様子はどうか。</p> <p>D委員:毎日5時から散歩。新聞の写生を1~2時間している。午前の半分は外を歩き、お昼を食べてまた歩きに行く。雨だと行かないが、やんでいると外に行き、また降ると家に戻れない。</p> <p>E委員:先生に話をすると1対1で対応できる所に行けたら悪化が防げるのにと話す。中には利用者10人に対し、職員が1人のところもある。</p> <p>C委員:年金で生活できる人、そうでない人の差がある。その場合利用はどうなのか。</p> <p>廣瀬:生活保護の方もいます。デイサービスは送迎業務があるので自宅へ出入りすることが多いため、生活水準の差は大きく見えてしまう。</p> <p>E委員:生活保護は国から支援があるから利用しやすい。それよりも中間層が難しい。生活保護を受給するほどでもなく、低所得の年金ギリギリで生活している人たち。年金も減ってきている状況があつて更に生活が苦しくなっている。</p> <p>A委員:「地域包括システム」という理想を掲げていても、行政につなぐ必要性はあるが、一部溢れてしまう人も出てくるのが現状か。</p> <p>E委員:若い方の認知症も増えてきている。ある専門医と話した際に、「年齢」と「生活水準の格差」があるとおっしゃっていた。</p>

議 題	内 容
(小休憩)	<p>A委員:「ゆりかごから墓場まで」という言葉があるが、税金で安心して生活できるとは言い難い。日本は世界から見ても中間。手厚い保証があるわけでもない。だから、高齢者でも子供でも「居場所」が大切。</p> <p>C委員: 格差はあるが、生活保護でも施設に入ることはできるのか。</p> <p>E委員: 生活保護は公的な保障がされている。中間層は保障されていない状況。</p> <p>河野: 社会保障は制度で割り切れない。中間層に光が当たっていない。制度として難しいところ。行政が制度として調整してくれれば対応できる。</p> <p>A委員: 働く機関があれば働く。そういう場所がない。ガイドラインもない。</p> <p>河野: 「8050」というのがある。80才の親が50才の子を見るというような。ただ、50代の子にうつがあつたり、支援が必要な人に支援ができず救うことができない。</p> <p>C委員: 民生委員としてどこまで立ち入っているのかわからない。独居の人、高齢のご夫婦、お子さんに障害などがあるなど本人から話があつたり目で見てわかれば立ち入るが、様子をみていることも多い。</p> <p>A委員: ここは防災で福祉避難所の登録指定になっている。デイサービスの場所が避難場所だが再開するにあたってどれくらいの期間を考えているか。</p> <p>廣瀬: 現在BCP作成も終盤。災害時でもストップしない方向でと考えている。月～金は営業。土日に災害があつたら、そのまま一部避難場所となるか、こちらの「地域交流室」を使用していただくことになるか。</p> <p>河野: うちは市から依頼されている。具体的な指示や情報はない。沼津市が中心となってやってくれたらと思う。</p> <p>A委員: A施設がダメ。B施設もダメ。災害時の避難施設の名簿の中からトップ3を挙げてここが近いからと避難できるわけではない。</p> <p>河野: 行政の担当課がもっと話を詰めていかないとならない。市が動かないとこちらも動けない。</p> <p>A委員: 私から言ってみます。</p> <p>D委員: 避難できないから家にいると考えていた。福祉施設に避難ができる場所があるのか。</p> <p>A委員: 身体障害者や精神疾患の方など災害弱者に対し福祉避難所があるが今は「在宅避難」を奨めている。全国的に、避難所は人口の5%も入らないと言われている。1週間分の食べ物飲み物を用意して生活できるようにしてほしい。</p> <p>廣瀬: Dさんの住む地域の避難場所はどこになりますか。</p> <p>D委員: 多分第五小学校が指定避難場所だと思う。</p> <p>ここで、認知症対応型通所介護のご利用者様が手作りした梅ソーダジュースを振る舞う。ご利用者様自身にもサーブに入ってください、委員との交流を交わしていただいた。</p>

議 題	内 容
閉会	<p>廣瀬:最近のご利用者様の中には、ご飯を食べない人がいらつしたり、誤嚥性肺炎になってしまったり、「食べる」ことが課題になっている方が増えている。「甘いものなら食べる」という方もいるので、おやつ作りを企画、実行したこともあった。          ご飯にふりかけを掛けたり、昼食を減らして提供したり、色々試行錯誤しているがなかなか上手くいかず、苦戦している。          毎月体重測定をして、増減やBMIなどデータ化している。          お薬が身体に溜まって眠くなってしまう人もいる。1日中眠いので、私たちもどう関われば良いのか頭を抱えているケースもある。</p> <p>河野:6年度は介護と医療の両方の保険制度が見直しの年となっている。          改正され、今までの介護と違い、ロボットやICT化が進んでいる。          「科学的介護」「LIFE」と言って、個人のデータを細かく入力するようになっている。          今はまだ厚生労働省がビッグデータを取っている過程。具体的に何をどうするか、フィードバックがあったら、それを現場で活用していかなければならない。          「生産性向上推進体制加算」などは、インカムや眠りスキャンなど、ベッドにセンサーをつけて、常に心拍数などコンピューターで管理して見られるようになっている。</p> <p>廣瀬:うちの施設はノーリフティングケアも積極的に勧めているので、リフトも購入して日常的に活用している。</p> <p>廣瀬:貴重なご意見ありがとうございます。          今回はR7年2月を予定しています。よろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 活動状況のご報告

認知症対応型通所介護事業所  
沼津フジビューデイサービスセンター（さくら）

## 1. ご利用者様の状況

	R6年2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録者数	9	10	9	8	7	7
延べ利用者数	116	109	129	125	95	110

## 要介護認定別 利用者数（令和6年7月31日現在）

要介護認定	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
利用者数	3	1	2	1	0	0	7

## 2. 活動報告（令和6年2月～令和6年7月）

## 月別活動報告

	行事内容
2月	おやつ作り（フルーツポンチ・マシュマロチョコムース） 運営推進会議 ※音楽鑑賞（爺婆寿） 誕生会
3月	※手作り料理（春のちらし寿司） 誕生会 ※機能訓練外出（お花見ウォーキング）
4月	※機能訓練外出（お花見ウォーキング・買い物） おやつ作り（いちごどらやき） 誕生会
5月	※おやつ作り（抹茶のパウンドケーキ） ※野菜の苗植え ※運動会
6月	※機能訓練外出（父の日・母の日外出） ※おやつ作り（ソフトクッキー）
7月	おやつ作り（七夕ゼリー・ココアゼリー） 誕生会 野菜の収穫

（※は一般型【ききょう】との合同行事）

### 3. 毎月の行事

- ・誕生会
- ・体重測定
- ・折り紙教室（隔週火曜日）⇒現在、休止中
- ・カラオケ
- ・麻雀教室（メンバーが揃い次第）
- ・イベント風呂（毎月第4週）
- ・フジビュー大学（毎月第3週）
- ・丘の上保育園との交流

### 4. 苦情受付

0件

### 5. 事故その他報告すべき事項

インシデント 0件

ヒヤリハット 1件

- ・朝のお迎え時、荷物をお預かりし、利用者に傘をさしながら車に向かった。  
門扉を閉めて、車の手前まで来ると、利用者の膝折れがあった。とっさに背中から手を回し右脇下を支えたため、車に寄りかかる状態になり転倒は免れた。  
その後、本人に痛みと怪我の確認をすると「支えてくれてありがとう。何ともないよ」と返事があった。  
→雨が激しく降っていたため、足元が滑りやすくなっていた。雨の日は傘もあるため、先に荷物を車に置いてくるとか、運転手にも協力してもらおう等の対策を行う。  
また、歩き出す前に利用者の歩行状態をよく確認する必要がある。

### 6. 次回の会議について

- ・令和7年 2月